

平成二十年徳法寺報恩講のご案内

今年の徳法寺報恩講は以下の通りです。都合のつく方は一日ゆっくりと過ごしていただければと思います。一部だけ参加という方も大歓迎です。

開催日 5月11日 日曜日

次第

午前9時半より 正信偈のお勤め

草4句目下「弥陀成仏のこのかたは」次第6首と一緒に勤めして下さい

午前10時半より法話 存立寺住職 海惠宏樹氏

海惠先生は住職をされながら『無碍光』、『聞光』等の本を書かれています。特に『無碍光』は私の父が大変気に入り多くの方に薦めていました。分かりやすい言葉と例え話で親鸞聖人の教えを長年にわたって伝えていらっしやいます。

正午より 御齋 手打ちそば 更科 藤井

午後1時半より 津軽三味線演奏 一川明宏氏

一川先生は、平成10年に津軽三味線の全国大会で優勝されて以来、石川県のみならず世界各国で公演活動をなさっている津軽三味線の第一人者です。

午後3時より 講演 石川県民教育文化センター所長金森俊朗氏

金森先生は小学校教諭として長年「いのちの教育」に取り組んでられました。NHKや石川テレビにもその様子が取り上げられご存知の方も多と思います。

〈講演の休憩時間に泉が丘「たね」のパンをおやつに出します〉

津軽三味線の奏者一川先生が先日の北国新聞に載っていました。



当日、昨年同様ラーメンと素麺の販売を行います。これは心身障害者が自立するためのグループによるものです。よろしければお土産にいかがですか。

金森先生のプロフィールです。

1946年、石川県能登生まれ。

金沢大学教育学部卒業後、教職につく。

石川県内の八つの小学校を経て、2007年3月退職。

上越教育大学・金沢大学非常勤講師

いしかわ県民教育文化センター所長

日本生活教育連盟会員

1980年代より「仲間とつながりハッピーになる」という教育思想をかかげ、人と自然に直に触れ合うさまざまな実践を試みる。

1989年、妊娠七カ月のお母さんを招いた「性の授業」を皮切りに、本格的に「いのちの教育」を開始する。

翌年、末期ガン患者さんと共に、日本で初めて小学校教育での、「デス・エデュケーション」を実施。以後活発な活動を続けている。

1997年第29回中日教育賞

1989年第10回教育科学研究会賞

金森学級の一年を追ったNHKスペシャル「涙と笑いのハッピークラス 四年一組命の授業」が、2003年第三十回日本賞グランプリを受賞

2004年、第25回バンフテレビ祭「グローバルテレビジョン・グランドプライズ」を受賞

2007年第30回石川テレビ賞受賞

その教育思想と実践は、教育界のみならず、医療・福祉関係者からも大きな注目を集め、「情操教育の最高峰」と高い評価を受けている